

# 常盤だより

第494号  
常盤小学校  
常盤幼稚園

## 一人一人が主役に

副校長 平田 裕美

先日の「Tokiwa English Day」には、多数ご来校いただきありがとうございました。どの学年の子どもたちも「楽しかった。」「もっと話したかった。」「英語が上手になりたい。」「もっと聞いてほしかった。」と笑顔で話してくれました。また、ご来校いただいた方からも「子どもたちの英語力に驚きました。」「子どもたちとたくさん話せて楽しかったです。」というご感想をいただきました。

当日はもちろんですが、子どもたちは、一人一人が生き生きと楽しそうに準備を進め、他学年との交流もありました。4年生は、6年生にパラリンピッククイズを出しました。6年生は、必死に答えるだけでなく、「もっと相手の近くで問題を出すといいよ。」「4年生のクイズ難しかった。よく考えたね。」とアドバイスをしたり、感心したりとお互いにより刺激を受け、さらに改善をしました。

6年生は、校内を日本橋の街として保護者の方をご案内しました。最初は、照れながらご案内していた子どもも調べたことをしっかり伝えようと努め、話題を考えながら英語での会話を楽しんでいました。次回は、マンダリンの外国人スタッフの方に日本橋をご案内します。今回の経験を生かし、おもてなしの気持ちでご案内できるよう、中央区のおもてなしボランティアの方に案内の仕方をご指導いただく予定です。5年生は、ミスインターナショナルの方との交流、他の学年も久松幼稚園の園児や外部の方に発表をする等「Tokiwa English Day」は、今後も様々なイベントに続きます。

学年の発達段階に合わせた学習を計画し、発表で終わるのではなく、他教科と繋げたり、活動を広げたりしています。「Tokiwa English Day」を通して、子どもたちは英語でのコミュニケーションを楽しみ、発表を繰り返すことで自信をもち、さらに意欲が増していると感じています。次の日「お家の人にほめてもらったよ。」という報告もありました。ご家庭でも、ぜひお子さんとの会話を楽しみながら、励ましの言葉をかけていただきますようお願いいたします。

今年度初めての取組なので、様々なご意見もあると思います。来年度さらに充実した取組となるよう、担任までご意見ご感想をお知らせください。11月末には、「Tokiwa Performance Day」(学習発表会)も予定しています。今後も、一人一人が主役となるような学習を計画していきます。

## 本栖移動教室の思い出

「行ってきます！」元気のよいかけ声で始まった移動教室。その中で、ぼくは色々な経験をしました。一番印象的だったのは、サファリパークでも、本栖湖でもなく、ホテルでの友達との時間です。様々なハプニングがありながらも、最高の思い出になりました。3日間、色々な体験をして、全員で「ただいま！」と言ったとき、少し大きくなって戻ってくることができたと感じました。

6年1組 代表児童

本栖移動教室で、ぼくが学んだことは、2つあります。1つ目は、都会との自然の違いです。都会は建物が多く、森などの自然が多くありません。しかし、自然豊かで新たな環境で過ごしたことで、自然の良さを知ることができました。2つ目は、協力・助け合いです。本栖で改めて協力し合うことが大切だと分かりました。本栖での経験を、これからも役立てていきたいです。

6年2組 代表児童

